



2022 年 9 月 29 日

報道機関 各位

東北大学東北アジア研究センター

東北 4 県と北海道の江戸時代資料約 9 万点 デジタルデータで一般公開開始

【発表のポイント】

- ・ 東北アジア研究センター^{注1}では、研究成果や資料情報のデジタル化を推進している。
- ・ 今回、「上廣歴史資料学研究部門^{注2}デジタルコレクション」を開設し、調査・研究で得た江戸時代の歴史資料について、写真画像 10 件を公開した。
- ・ 第 1 次公開では、宮城県塩釜市・利府町・川崎町、福島県須賀川市などに関係する東北地方の歴史資料を掲載している。

【概要】

東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門は、2012 年 4 月の設置以来、宮城・岩手・山形・福島 of 東北 4 県と北海道を対象地域に、およそ 9 万点の歴史資料保全活動を実施してきました。その多くは、これまで地域の旧家や博物館・歴史資料館などに伝来しながらも、内容がわからなかった未解明の記録です。私たちは、おもに江戸時代以降の歴史資料を 1 点ずつ確認し、全点の写真撮影を行っています。東北大学の教職員や歴史専攻の学生たちと情報共有を進めていますが、今後は国内外の専門家や、市民の方々にも積極的に資料を活用いただくため、「上廣歴史資料学研究部門デジタルコレクション」を開設するに至りました。第 1 次に続き、順次データ更新を計画しており、誰でも閲覧ができる環境整備に努めていきます。

ついては、紙面や Web 記事、番組等で広くご紹介くださいますようお願い申し上げます。なお、取材をご希望の際は、下記問い合わせ先までご一報いただきますよう併せてお願い申し上げます。



デジタルコレクションページ(トップページ)



デジタルコレクションページ(個別ページ)

【問い合わせ先】

東北大学東北アジア研究センター

担当 野本禎司、荒武賢一郎

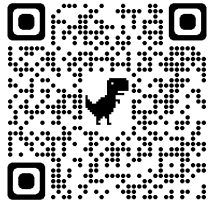
電話 022-795-3140、022-795-3196

E-mail uehiro@grp.tohoku.ac.jp

【詳細】

1. 閲覧の方法

東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門 <https://uehiro-tohoku.net/>
デジタルコレクション <https://uehiro-tohoku.net/digital-collection>



デジタルコレクション QR コード

上記のサイトから閲覧が可能です。画像は、すべて自由にダウンロードをすることができ、関連する情報(文書目録・調査報告書など)もあわせて入手が可能です。閲覧後の注意事項は、「ご利用にあたって」を参照してください。

2. 公開画像の概要

歴史資料の所蔵機関である利府町教育委員会(宮城県)、須賀川市立博物館(福島県)の承諾を得て、以下の画像を公開しました。

【利府町小野家文書(利府町指定文化財)】

小野家は、江戸時代に塩竈神社(現・宮城県塩釜市)の神官を務め、同社から知行地(領地)を与えられて陸奥国宮城郡加瀬村(現・利府町)に居宅がありました。今回公開した 3 件は、いずれも塩竈神社に関する記録で、江戸時代の年中行事や儀礼の状況などが詳しくわかります。

【須賀川市桑名家文書】

桑名家は、陸奥国岩瀬郡滑川村(現・須賀川市)の庄屋(村長)を務め、古文書のなかには江戸時代以降の地域社会に関する情報がたくさん含まれています。そのうち、滑川村の領主であった府中松平家(居城は常陸国、現・茨城県石岡市)より出される法令や通達、また庄屋から発信する願書や報告書などがまとめられた「御用留(ごようどめ)」、当地を視察した幕府巡見使や年貢上納に関する書類も掲載しました。

【上廣歴史資料学研究部門所蔵文書】

研究部門所蔵で、仙台藩の歴史を伝える文書や青根温泉(現・川崎町)の状況を書きとめた記録について公開しました。

3. 積極的な活用をお願い

歴史研究の専門家、これから日本史や古文書学を勉強しようとする学生のみならず、そしてお住まいの地域の歴史を調べておられる方々など、多くの人々にご活用をいただきたいと願っております。さらには、文化財保全や生涯学習、観光促進にも波及するものです。デジタルコレクションを起点に、「リアルな歴史」への理解が深まればと考えています。

【用語説明】

注1 東北大学東北アジア研究センター

前身は 1962 年に設置された文学部附属日本文化研究施設で、1996 年に日本・朝鮮半島・中国・モンゴル・ロシアを総合的に捉える地域研究を設置目的とした全国唯一の研究型組織(部局)として、また人文社会科学と自然科学による学際研究施設として発足した。東北(北東)アジア研究の大学設置研究所型組織としては日本で最大である。

<http://www2.cneas.tohoku.ac.jp/index.html>

注2 上廣歴史資料学研究部門

公益財団法人上廣倫理財団の支援により、2012 年 4 月 1 日に東北大学東北アジア研究センターに開設された寄付研究部門。古文書などの歴史資料を保全する活動に取り組んでいる。特に地域の旧家に伝来した江戸時代からの手紙や書類、20 世紀になってから増えてくる写真や新聞・雑誌など、あらゆる文献資料を保存し、書かれている内容の分析をおこなっている。その成果を、歴史講演会や研究シンポジウム、論文集や調査報告書の出版といった形で公表している。

<https://uehiro-tohoku.net/>